共立女子大学　ビジネス学部　ビジネス学科　カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP 1
【知識・理解】
(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。

DP2
【技能】
(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。

DP3
【思考・判断・表現】
(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。

DP4
【関心・意欲・態度】
(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。

カリキュラム・ポリシー

専門発展科目 — CP4
「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」の4つの分野に、主として学びを深めていくための専門科目を配置する。専門発展科目では、学生の学修思考・関心・意欲や目指す将来像に応じて、主として学びを深める分野（主専攻）を選択し、当該分野の科目を中心に履修しつつ、適切な履修指導のもと、他の分野の科目も履修することで、包括的な視点に基づく分野横断的な能力と選択した分野における深い知識や応用力を身に付ける。また、これまで学修した知識・技能等を活かしつつ、適切な指導により、自ら設定したテーマを研究したり、グループディスカッション等を通じて協働力を身に付けたりするための「ゼミナール」を配置する。さらに、4年間の集大成として研究成果を論文にまとめ、成果発表までを行う「卒業論文」を配置する。そのため、専門発展科目のうち、「3年ゼミナール」、「4年ゼミナール」、「卒業論文」は必修科目とし、それ以外の科目は選択科目とする。

- 卒業論文
- 4年ゼミナール
- 3年ゼミナール

DP1
- 経営組織論Ⅱ
- 人的資源管理論
- コンプライアンス経営論
- ビジネスと法A
- ビジネスと法B
- 消費者行動論
- ビジネスとプログラミング
- ビックデータ分析
- 公共経済学A
- 公共経済学B
- 会計演習A
- 会計演習B
- 管理会計Ⅰ
- 管理会計Ⅱ
- 起業と会計
- 企業評価論

DP2
- 中小企業論
- コーポレートガバナンス
- ビジネスと法A
- ビジネスと法B
- マーケティング・リサーチ
- マーケティング・コミュニケーション
- ビジネスとプログラミング
- ビックデータ分析
- 国際貿易論
- 会計演習A
- 会計演習B
- 管理会計Ⅰ
- 管理会計Ⅱ

DP3
- 経営戦略論Ⅱ
- 経営組織論Ⅱ
- 現代経営事情
- 国際経営論
- 人的資源管理論
- 現代マーケティング事情
- マーケティング・リサーチ
- マーケティング・コミュニケーション
- 金融論
- 公共経済学A
- 公共経済学B
- 国際金融論
- 現代金融・会計事情
- ファイナンス
- 監査論
- リーダーシップ開発応用演習

DP4
- 経営戦略論Ⅱ
- 中小企業論
- 現代経営事情
- 国際経営論
- 消費者行動論
- 現代マーケティング事情
- 国際貿易論
- 現代金融・会計事情
- ファイナンス
- リーダーシップ開発応用演習
- ファシリテーション基礎演習A
- ファシリテーション基礎演習B
- チームコーチング基礎演習A
- チームコーチング基礎演習B

専門基幹科目 — CP3
「専門基礎科目」で得た知識・技能との繋がりを意識しながら、3年次より主として学びを深めていく分野を選択し、専門性を発展させていく上で基盤となる、「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」の各分野の基礎的な科目を配置する。また、「専門基幹科目」においても、理論的知識を実践事例と関連付けることで、活用できる知識にするためのＰＢＬ型授業の基礎演習を配置する。各授業科目の教育内容に応じて、他者の意見や考え方に触れたり、グループワークの結果を適切に表現したりするなど、ビジネスという広がりの中で、各分野の知識・技能の基礎を固めることを目的としており、全て必修科目とする。

DP1
- 経営基礎Ⅱ
- 経営戦略論Ⅰ
- 経営組織論Ⅰ
- マーケティング基礎Ⅱ
- 流通論Ⅰ
- 流通論Ⅱ
- 統計学基礎演習Ⅰ
- 統計学基礎演習Ⅱ
- ミクロ経済学基礎Ⅱ
- マクロ経済学基礎Ⅰ
- マクロ経済学基礎Ⅱ
- 財務会計Ⅰ
- 財務会計Ⅱ
- 原価計算Ⅰ
- 原価計算Ⅱ

DP2
- 経営戦略論Ⅰ
- マーケティング基礎Ⅱ
- 流通論Ⅰ
- 統計学基礎演習Ⅰ
- 統計学基礎演習Ⅱ
- マクロ経済学基礎Ⅰ
- 財務会計Ⅰ
- 財務会計Ⅱ
- 原価計算Ⅰ
- 原価計算Ⅱ
- リーダーシップ開発基礎演習

DP3
- 経営基礎Ⅱ
- 経営組織論Ⅰ
- 流通論Ⅰ
- 流通論Ⅱ
- ミクロ経済学基礎Ⅱ
- マクロ経済学基礎Ⅱ
- リーダーシップ開発基礎演習

DP4
- 経営戦略論Ⅰ
- 流通論Ⅱ
- マクロ経済学基礎Ⅱ
- 財務会計Ⅱ
- リーダーシップ開発基礎演習

専門基礎科目 — CP2
「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」の各分野を学ぶ目的や学問体系を理解するため、導入教育の科目として「ビジネス入門」を配置する。また、ビジネスという広がりの中で学びの土台を作るため、各分野に入門又は基礎的な科目を配置する。さらに、理論的知識を実践事例と関連付けることで、活用できる知識にするためのＰＢＬ型授業の入門演習を配置する。各授業科目を通じて基礎的な知識・技能を身に付け、ビジネス社会への関心や意欲を高めることを目的としており、全て必修科目とする。

DP1
- ビジネス入門
- 経営基礎Ⅰ
- マーケティング基礎Ⅰ
- ミクロ経済学基礎Ⅰ
- 会計基礎Ⅰ
- 会計基礎Ⅱ

DP2
- 経営基礎Ⅰ
- マーケティング基礎Ⅰ
- ミクロ経済学基礎Ⅰ
- 会計基礎Ⅰ
- 会計基礎Ⅱ
- リーダーシップ開発入門演習Ⅰ
- リーダーシップ開発入門演習Ⅱ

DP3
- リーダーシップ開発入門演習Ⅰ
- リーダーシップ開発入門演習Ⅱ

DP4
- ビジネス入門
- リーダーシップ開発入門演習Ⅰ
- リーダーシップ開発入門演習Ⅱ

教養教育科目 — CP1
ひとりの女性・ひとりの人間として日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加して責任ある役割を果たすために、以下の「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップコア」に区分する。

自律と努力コア	初年次教育科目で、自己を確立し生涯学び続けるための基礎的な力を養う科目区分であり、「基礎ゼミナール」「ライフプランと自己実現」「課題解決ワークショップ」を必修科目とする。
創造とキャリアコア	新たな価値を創造し社会を生き抜くための基礎的な力やキャリア意識を養う科目区分であり、「英語」においては、8単位を必修科目とする。「情報リテラシー」においては、情報処理2単位を必修科目とする。「人間を理解するための教養」「社会を理解するための教養」「自然を理解するための教養」「身体と健康を管理する教養」「キャリアを創造するための教養」の5つの科目群から4単位を選択必修科目とする。
協働とリーダーシップコア	他者と協働しながら課題解決に導くためのリーダーシップ力を養う科目区分であり、「現代社会の諸課題の解決」「課題解決実践演習」「リーダーシップ開発」の3つの科目群から、2単位を選択必修科目とする。

- DP1との関連性がとても高い科目
- DP2との関連性がとても高い科目
- DP3との関連性がとても高い科目
- DP4との関連性がとても高い科目

アドミッション・ポリシー

AP1
【知識・技能】（1）ビジネスの世界に関心を持ち、「経営」「マーケティング」「経済」「会計」等の学修に必要な基礎学力を有している。

AP2
【思考・判断・表現】
（2）他者の意見や考え方に触れながら、自らの考えを整理・表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している。

AP3
【関心・意欲・態度】
（3）主体性を持ってコミュニケーション能力を高めていくことに強い意欲がある。

※各科目は「カリキュラムマップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。